

◆◆ 学校長より ◆◆

学校の教育活動は、学習指導要領に則り、計画を立て、実践し、振り返りから反省・評価を行い、そして更なる改善へとつなげています。児童へのアンケートや保護者の皆様へのアンケートは、教員では気づきにくい、視点の異なる客観的なご意見として、学校評価の貴重な資料となります。今年も、たくさんのご意見を頂くことができました(回収率92.8%)。ご協力、ありがとうございます。(アンケートの項目は、町田市教育委員会で行っている共通項目です。)

昨年1月より世界的な災害で猛威を振っている新型コロナウイルスは、学校教育に、とてつもない前代未聞の影響を与えています。今年度の学校経営方針には、「感染予防」への対応・対策を万全とし、「保護者の不安の解消を目指す」と掲げました。

4・5月の臨時休業で始まった今年度ですが、6月には分散登校が始まり、6月末には、ほぼ平常の登下校となりました。しかし、コロナ感染予防対策は継続となり、学校行事や校外学習、地域人材活用、授業参観・保護者会等においては、規模縮小や中止等の対応を余儀なくされ、現在に至っている現状です。

この状況において、保護者からの学校に対する苦情は一件もなく、温かく見守ってくださり、ご理解を頂けたこと、更には、アンケート自由記述にて学校の対応に激励の言葉をたくさん頂けたこと、心より感謝申し上げます。

児童の教育は、「学校だけが任せられる」「家庭だけにお任せする」ということはなく、互いに同じ方向を向いて情報を共有し、さらに地域を巻き込んで行われることが理想であり、課題解決の重要な方策を生み出す土台となります。様々な教育活動に積極的な関わりで、学校・家庭・地域の太いつながりを期待しています。

◆◆ 5名のスクールボード理事より ◆◆

●今年度は新型コロナで学校行事への参加もほとんどなく、私たち町内会・自治会の行事もできないまま子ども達と触れ合う機会も少なく大変寂しい思いをしました。そんな中でも展覧会には地域にも観覧させて頂き、子ども達の頑張っている姿を、作品を通して見せて頂く事ができました。また、地域の皆さんの作品も展示させて頂き、参加する事ができてとても嬉しく思いました。校長先生・副校長先生をはじめ、各先生方のご苦労・ご努力に心より感謝致します。ありがとうございました。

●昨今の状況の中、アンケートの回答率にはいつも驚かされます。自由記述の内容も読ませていただきました。コロナ対応で、手探り状態で過ごした一年で、先生方、保護者の皆様も手探りで過ごしたことが読み取れます。スクールボード・地域協力者として、何か協力出来ないかと考えた一年でもありました。この経験を来期に生かすことが出来れば幸いです。今後も、情報交換を密に取りながら、可能性を探るのが大切と考えます。

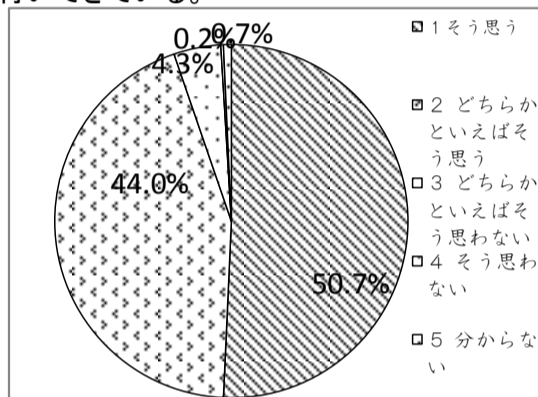
●高い回収率と、肯定的意見が多い保護者アンケートの結果は、鶴三小がとても信頼されていることを示しています。この信頼をもとに、アンケートからこぼれた課題にも手を伸ばしていきたいものです。

●今年度はコロナという緊急事態により、鶴三小の教育方針の真価が問われた1年でした。学校教育において厳しい体制を強いられる中、校長を筆頭に教職員が子どもたちに寄り添うべく賢明に取り組み、子どもたちも、不自由ながら登校できる楽しさにかえながら生活した様子がわかりました。鶴三小はこの環境の中、みんなで頑張りましたね。

●アンケートは客観的に見るには良いと思います。ただのデータとしてみるだけでなく、地域との関わりが薄い時代に、学校・地域・保護者がそれぞれの立場で考えを述べやすい環境があることで、子供は大人たちが協力しあっている姿をみて多くを学ぶことができるのだと思います。

1 各教科の基礎的・基本的なことがらに身に付いてきている。

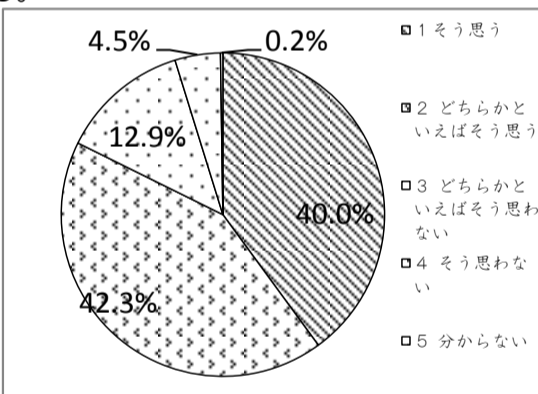
	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばそう思わない	4 そう思わない	5 分からない
1年	64.2%	32.8%	3.0%	0.0%	0.0%
2年	46.8%	45.2%	6.5%	0.0%	1.6%
3年	45.8%	49.2%	1.7%	0.0%	3.4%
4年	44.8%	50.7%	4.5%	0.0%	0.0%
5年	38.2%	54.4%	7.4%	0.0%	0.0%
6年	60.0%	35.8%	3.2%	1.1%	0.0%
全校	50.7%	44.0%	4.3%	0.2%	0.7%



昨年度より5ポイント上がり全体の95%の方から「身に付いてきている」という評価をいただきました。児童の学力は、二極化傾向になりやすく、平均値では、なかなか読み取れない中で、基礎基本の定着は大切なことです。算数では、習熟度別に展開して個人差に対応した丁寧な少人数学習を引き続き進めています。今年度は、コロナ感染の影響で、大学生ボランティアの放課後学習教室は実施できませんでした。低学年の読み聞かせや家庭学習など、個々の学力定着を図るために今後とも学校と家庭で連携して

2 宿題や家庭学習に積極的に取り組んでいる。

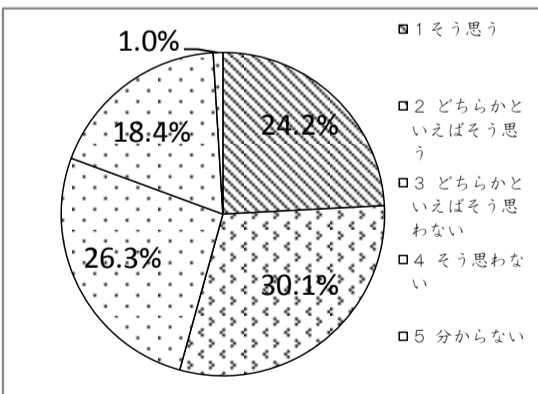
	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばそう思わない	4 そう思わない	5 分からない
1年	41.8%	44.8%	10.4%	3.0%	0.0%
2年	38.7%	45.2%	8.1%	6.5%	1.6%
3年	35.6%	42.4%	15.3%	6.8%	0.0%
4年	40.3%	46.3%	10.4%	3.0%	0.0%
5年	36.8%	36.8%	25.0%	1.5%	0.0%
6年	44.2%	40.0%	9.5%	6.3%	0.0%
全校	40.0%	42.3%	12.9%	4.5%	0.2%



宿題は、漢字学習、計算ドリル、音読、(日記)などを基本として、複数の宿題を出しています。どれも、毎日少しずつの積み重ねで理解の定着を図り、自信につながるように考えています。また、こつこつ積み重ねる姿勢、机に向かう習慣付けも、ねらいとしています。より意欲的に取り組めるように励ましの声かけをしていきます。高学年になるほど、学習も難解になってきまので、家庭学習習慣を確立していくことが大切です。家庭の事情や習い事もあり、なかなか継続できないこともあるかと思いますが、ご家庭の協力も必要と考えます。

3 すすんで読書をしている。

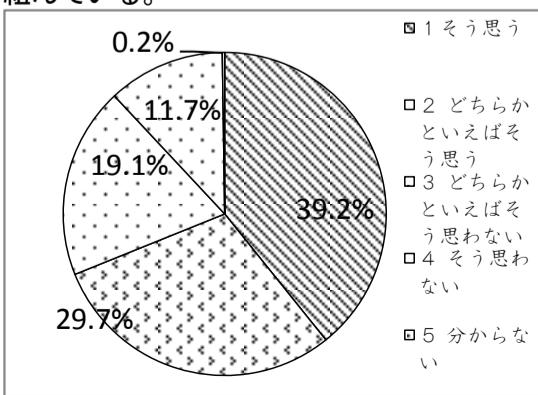
	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばそう思わない	4 そう思わない	5 分からない
1年	25.4%	28.4%	25.4%	19.4%	1.5%
2年	19.4%	37.1%	21.0%	21.0%	1.6%
3年	15.3%	39.0%	32.2%	13.6%	0.0%
4年	25.4%	29.9%	25.4%	17.9%	1.5%
5年	26.5%	13.2%	39.7%	20.6%	0.0%
6年	29.5%	33.7%	17.9%	17.9%	1.1%
全校	24.2%	30.1%	26.3%	18.4%	1.0%



肯定的評価が昨年度と同じく54%と、最も低い項目になっています。図書の時間を設定し、読み聞かせや読書の時間を多く取り入れ、本に親しむ習慣を身に付けさせたいです。読書週間には、長期休業中と同様の4冊貸出をしています。その他に読書記録カードの活用、職員による「おすすめの本」の紹介を通して読書意欲を高めています。今年度の児童アンケートでは9ポイントも読書に対する関心が高まっていました。地域の図書館を積極的に利用し、家庭での読書の時間を設けるなどして、読書環境を整えながら本に親しむ機会をつくる

4 日常的に、運動やスポーツに積極的に取り組んでいる。

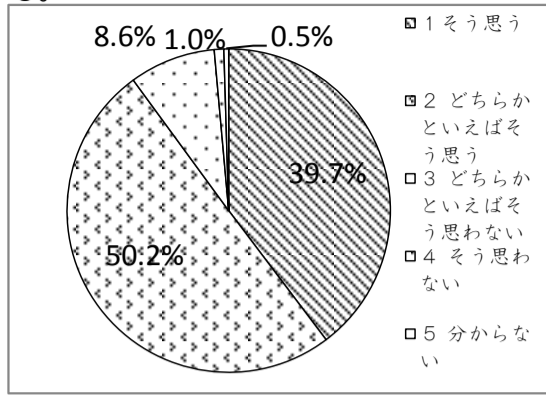
	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばそう思わない	4 そう思わない	5 分からない
1年	43.3%	34.3%	13.4%	9.0%	0.0%
2年	41.9%	33.9%	12.9%	9.7%	1.6%
3年	40.7%	37.3%	16.9%	5.1%	0.0%
4年	37.3%	28.4%	20.9%	13.4%	0.0%
5年	30.9%	26.5%	27.9%	14.7%	0.0%
6年	41.1%	22.1%	21.1%	15.8%	0.0%
全校	39.2%	29.7%	19.1%	11.7%	0.2%



オリンピック・パラリンピック教育の一環として、パラリンピックの陸上選手の講演や実技見学をし、これらは、子供たちにとって貴重な体験となりました。金曜日の朝は、不定期でしたが「つる三タイム」を行い、体力向上に努めています。ラジオ体操、長縄跳びなど、色々な動きに親しんでいます。さらに、鉄棒・縄跳びは「〇〇ウィーク」と称して、それぞれ2週間にわたって全校で取り組んでいます。コロナ禍により校庭で全員が例年通りの運動をすることが難しい中ですが、運動の日常化に向けて、環境の整備を含めて取り組んでいきます。

5 学校のきまりや、家庭でのきまりを守っている。

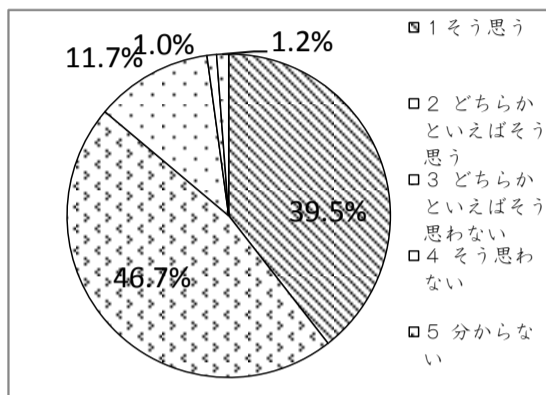
	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばそう思わない	4 そう思わない	5 分からない
1年	32.8%	53.7%	11.9%	0.0%	1.5%
2年	38.7%	54.8%	3.2%	1.6%	1.6%
3年	42.4%	49.2%	8.5%	0.0%	0.0%
4年	49.3%	44.8%	6.0%	0.0%	0.0%
5年	38.2%	44.1%	16.2%	1.5%	0.0%
6年	37.9%	53.7%	6.3%	2.1%	0.0%
全校	39.7%	50.2%	8.6%	1.0%	0.5%



肯定的評価が90%です。学校のきまりは、「鶴三小のやくそく」として、年度当初に指導しています。登校から下校まで、児童が安全に気持ちよく学校生活が送れるように考え、分かりやすく示しています。月曜日の全校朝会では、当番の教員から、月目標や週目標を提示して細かい指導を行っています。本校では、「生活リズム調査」を学期ごとに実施し、児童が自分の生活リズムを振り返ることができるようにしました。家庭でのきまりは、個々の家庭により多少違うことも考えられますが、保護者の皆様と、共通理解を図ったり、相談したりできるとよいと考えています。

6 あいさつをきちんとしている。

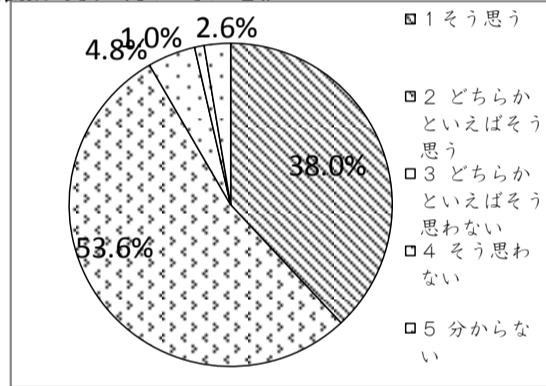
	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばそう思わない	4 そう思わない	5 分からない
1年	37.3%	46.3%	13.4%	1.5%	1.5%
2年	40.3%	48.4%	8.1%	1.6%	1.6%
3年	40.7%	42.4%	16.9%	0.0%	0.0%
4年	41.8%	46.3%	11.9%	0.0%	0.0%
5年	35.3%	47.1%	16.2%	0.0%	1.5%
6年	41.1%	48.4%	6.3%	2.1%	2.1%
全校	39.5%	46.7%	11.7%	1.0%	1.2%



青少年健全育成協議会と連携した年2回の「小中教員・保護者・地域合同挨拶運動」は、今年度においては、臨時休業等の理由から、1回のみ実施いたしました。児童の挨拶意識を高めるために、教職員は児童の模範となり、様々な機会に挨拶の大切さを指導しました。また、地域の方には、登下校や交通安全など、見守り活動の際にもご指導いただいています。ぜひ、ご家庭でも元気な挨拶で送り出して、心地よい一日のスタートを応援してください。

7 交通事故防止や不審者対応などの安全意識が身に付いている。

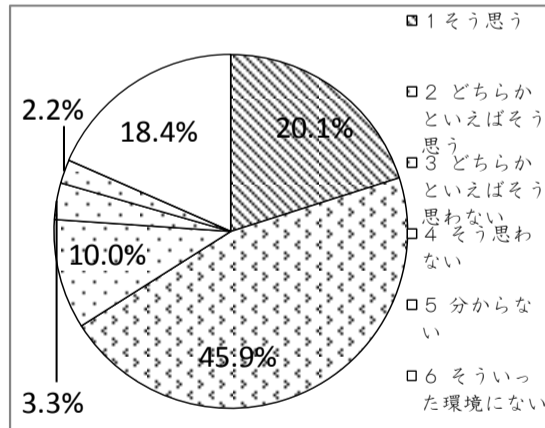
	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばそう思わない	4 そう思わない	5 分からない
1年	23.9%	62.7%	10.4%	1.5%	1.5%
2年	30.6%	56.5%	3.2%	0.0%	9.7%
3年	35.6%	62.7%	0.0%	1.7%	0.0%
4年	44.8%	43.3%	10.4%	0.0%	1.5%
5年	42.6%	51.5%	2.9%	0.0%	2.9%
6年	46.3%	48.4%	2.1%	2.1%	1.1%
全校	38.0%	53.6%	4.8%	1.0%	2.6%



肯定的評価が90%を超えました。児童一人一人の安全意識を徹底していくため、本校では日々の指導の他、交通安全教室や長期休業前の終業式を活用して、例を示しながら分かりやすく指導しています。保護者の方々にも、毎学期初めの1週間、「見守り活動(朝の登校見守り)」へ参加いただいています。危険ポイントに関しては、生活安全部が一覧表を作成し、全家庭に配布しています。ご家庭においても、児童の安全確保のために話

8 パソコン、スマートフォンなどによるネットマナーや使い方のルールが守られている。

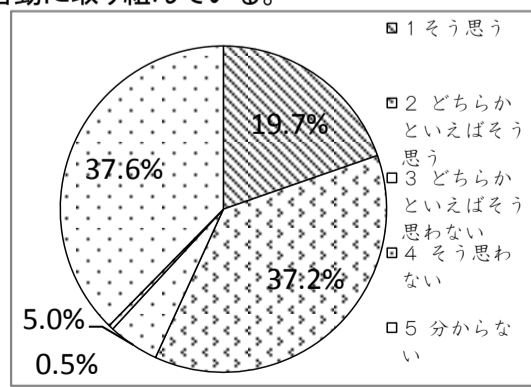
	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばそう思わない	4 そう思わない	5 分からない	6 そういった環境にない
1年	9.0%	43.3%	11.9%	1.5%	7.5%	26.9%
2年	17.7%	32.3%	4.8%	1.6%	0.0%	43.5%
3年	27.1%	49.2%	1.7%	3.4%	1.7%	16.9%
4年	26.9%	44.8%	7.5%	3.0%	1.5%	16.4%
5年	23.5%	39.7%	20.6%	2.9%	1.5%	11.8%
6年	17.9%	60.0%	11.6%	6.3%	1.1%	3.2%
全校	20.1%	45.9%	10.0%	3.3%	2.2%	18.4%



「生活リズム調査」でも、学年を問わず、TV、インターネット等へのアクセス時間の長時間化が浮き上がってきています。また、「6 そういった環境にない」の数値は、低学年で高いものの、全校については昨年度25%今年18%と、年を追う毎に児童のネット利用が高くなっています。各ご家庭でのネットに関わる心配事やトラブルは社会的にも問題となっていて、SNS東京ルール等を参考に、ネットの使い方や時間・約束等について、ぜひご家庭でも、「我が家のルール」について話し合っただければと思います。

9 学校は、鶴川第二中学校と連携して教育活動に取り組んでいる。

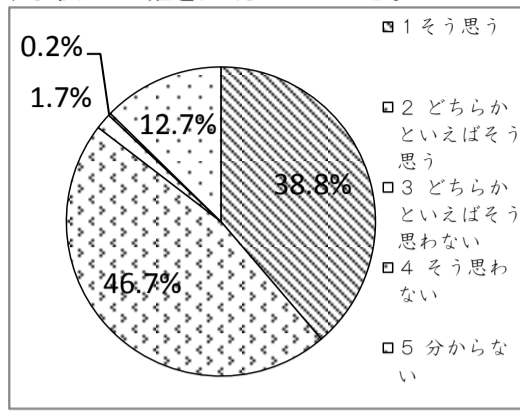
	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばそう思わない	4 そう思わない	5 分からない
1年	17.9%	26.9%	6.0%	0.0%	49.3%
2年	11.3%	30.6%	4.8%	1.6%	51.6%
3年	18.6%	45.8%	1.7%	0.0%	33.9%
4年	34.3%	41.8%	4.5%	0.0%	19.4%
5年	10.4%	43.3%	4.5%	0.0%	41.8%
6年	23.2%	35.8%	7.4%	1.1%	32.6%
全校	19.7%	37.2%	5.0%	0.5%	37.6%



例年、小中交流会が行われ、授業参観後は、子供たちの成長や課題を話し合っています。また、鶴二中から職場体験生徒を受け入れたり、鶴二中学生徒会が来校し、6年生に中学校生活の話をしてもらう活動をしていました。今年度はこれら全てが中止となり情報交換は行なったものの、交流は行うことができず、十分な連携が図れませんでした。アンケートで「わからない」と回答される割合が、最も高くなっています。これは、学校側の反省点です。今後も、6年生を中心に推進し、学校全体にも伝わるような発信にしていきます。

10 学校は、いじめ防止や体罰防止に取り組み、子供の人権を大切にしている。

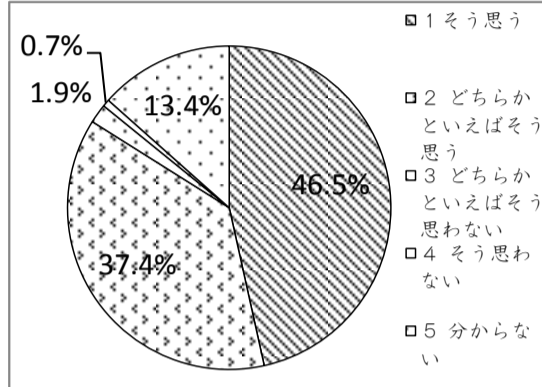
	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばそう思わない	4 そう思わない	5 分からない
1年	29.9%	41.8%	1.5%	0.0%	26.9%
2年	25.8%	53.2%	3.2%	0.0%	17.7%
3年	45.8%	47.5%	0.0%	0.0%	6.8%
4年	47.8%	41.8%	3.0%	0.0%	7.5%
5年	41.2%	42.6%	2.9%	0.0%	13.2%
6年	41.1%	51.6%	0.0%	1.1%	6.3%
全校	38.8%	46.7%	1.7%	0.2%	12.7%



毎月1回、「心のアンケート」を全児童に実施しています。困っていること・悩んでいることがあったときは、聞き取りを行い、一人一人の悩みの早期解決に努めています。
「体罰アンケート」も行い、同様に児童が気持ちよく学習できるよう、人権は、冬休みの課題として人権標語作りに取り組んでいます。道徳の学習をはじめ、互いの人権を守るために、どのように行動することが良いことなのかを学ぶ機会を様々な場面で設けています肯定的評価が昨年度より4ポイント伸びて、成果が現れています。今後も積極的に取り組んでいきます。

11 学校は、保護者や地域の方と協力して教育活動を行っている。

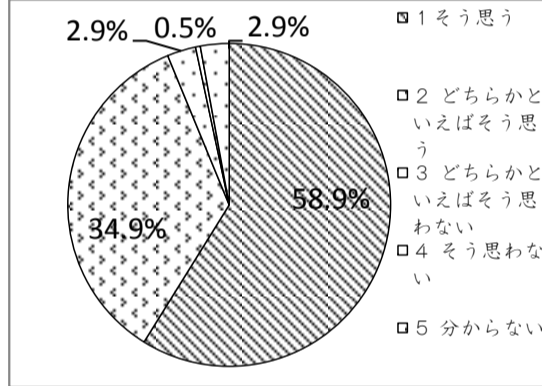
	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばそう思わない	4 そう思わない	5 分からない
1年	27.3%	36.4%	3.0%	0.0%	33.3%
2年	40.3%	43.5%	3.2%	3.2%	9.7%
3年	55.9%	39.0%	0.0%	1.7%	3.4%
4年	59.7%	34.3%	3.0%	0.0%	3.0%
5年	41.2%	39.7%	1.5%	0.0%	17.6%
6年	52.6%	33.7%	1.1%	0.0%	12.6%
全校	46.5%	37.4%	1.9%	0.7%	13.4%



昨年度95%から今年度は12ポイント下がりました。新型コロナウイルス感染症対策として保護者の皆様や地域の方の来校を大幅に遠慮していただきました。
感染症が落ち着いたら、例年通りボランティアコーディネーターとの連携により、地域の方を講師としてお招きし、体験学習をしたり、サマースクール、柿の木文庫、保護者による読み聞かせなど、地域人材の活用を充実させ、引き続き児童が広く学べる機会を計画していきます。

12 学校は、保護者会や学校公開、学校行事などで、教育活動を公開している。

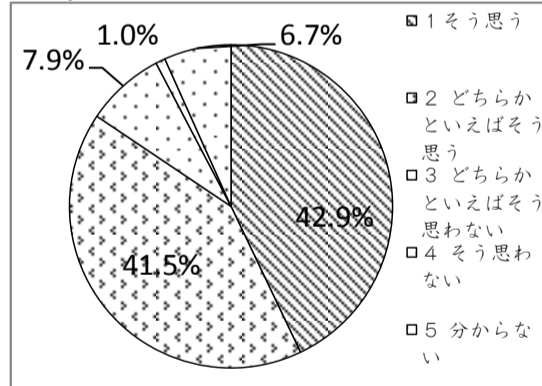
	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばそう思わない	4 そう思わない	5 分からない
1年	55.2%	35.8%	4.5%	0.0%	4.5%
2年	54.8%	38.7%	1.6%	3.2%	1.6%
3年	61.0%	39.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4年	70.1%	22.4%	6.0%	0.0%	1.5%
5年	48.5%	45.6%	0.0%	0.0%	5.9%
6年	62.1%	30.5%	4.2%	0.0%	3.2%
全校	58.9%	34.9%	2.9%	0.5%	2.9%



約93%以上の方から肯定的評価をしていただきました。
例年と比べて保護者会や学校公開、学校行事など回数や形態が異なっていたにもかかわらず、高い評価でした。
運動会や展覧会など、保護者から、学習成果を見ていただくことにより、学習活動を話題にされたり、さらに誉めてもらったりすることで、児童の自己肯定感が高まります。また、ご意見をいただくことで担任にとっても励みになります。
保護者の皆様のご理解には、心より感謝申し上げます。

13 学校は、校内整備や校内美化に取り組んでいる。

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばそう思わない	4 そう思わない	5 分からない
1年	38.8%	41.8%	10.4%	0.0%	9.0%
2年	40.3%	46.8%	4.8%	1.6%	6.5%
3年	30.5%	54.2%	6.8%	0.0%	8.5%
4年	62.7%	25.4%	7.5%	3.0%	1.5%
5年	34.3%	50.7%	4.5%	1.5%	9.0%
6年	47.4%	34.7%	11.6%	0.0%	6.3%
全校	42.9%	41.5%	7.9%	1.0%	6.7%



日常の清掃活動の他に、校舎などを大切にしていけることを全校朝会で指導しています。児童が自分たちの力で美化に心がけられるように努めています。
栽培委員会の活動では、花壇を、四季の花々で彩っています。
校内整備は、教職員全員で毎月の安全点検を行い、危険個所の発見や不具合への対応を行っています。
用務主事は、学校敷地全体の環境整備に毎日励んでいます。校内整備が全校に行き届いていない所もあるかもしれませんが、職員全員